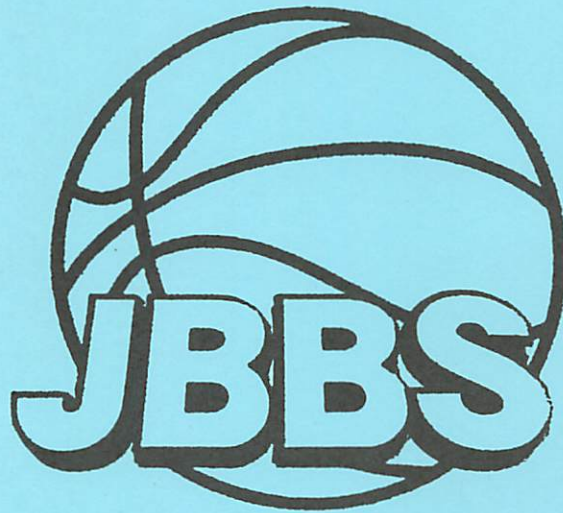


バスケットボールプラザ

Basketball Plaza

No:25



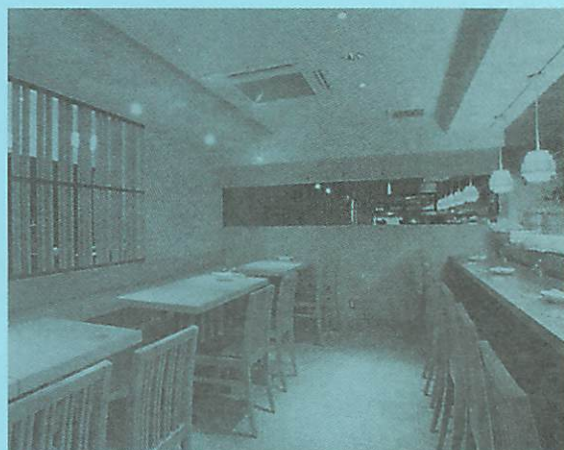
2004年12月

日本バスケットボール振興会

ハ詩 (はちうた)
BISTRO HACHI-UTA

BISTRO 八詩

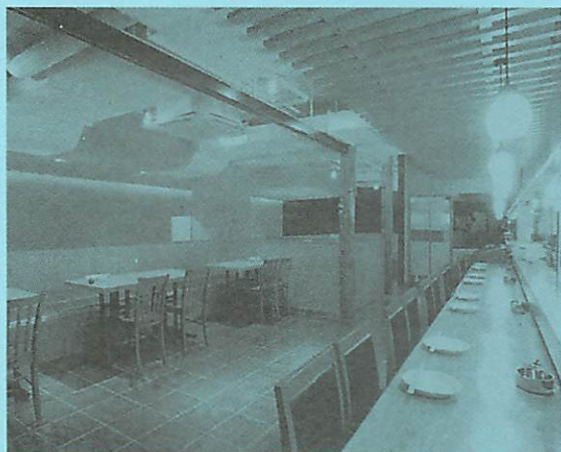
渋谷の喧騒を忘れそうな和める空間で、旬の素材を。



ごまや

BISTRO ごまや

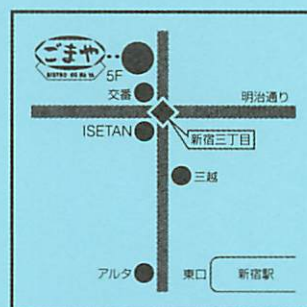
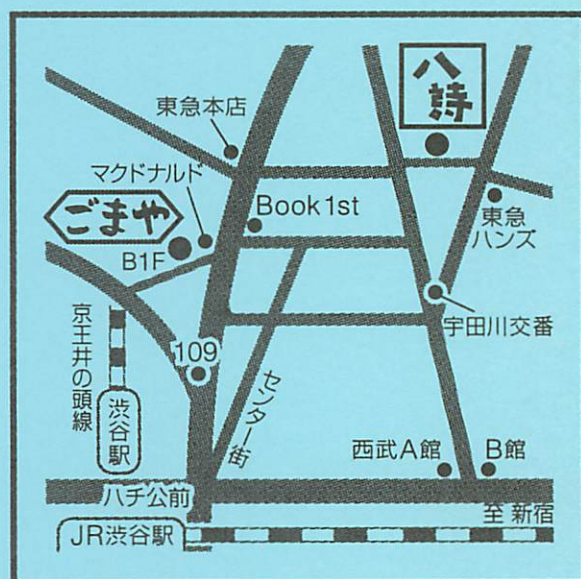
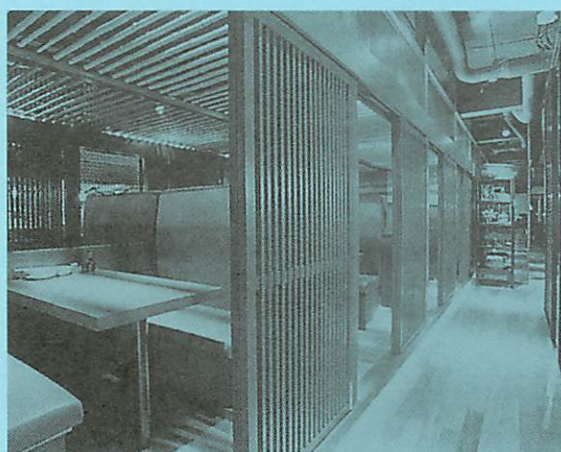
渋谷の真ん中と思えない、まるで大人の隠れ家。



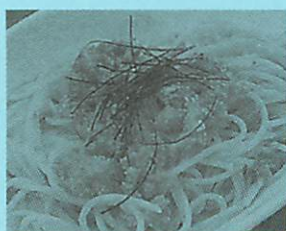
ごまや

BISTRO ごまや・新宿店

素材にこだわった料理とひとときを、和みの空間で。



東京都新宿区新宿3-4-1
カルムビル5F
tel:03-5269-8158
Open 11:30 ~ Last Order 22:45
"年中無休" (120席(個室大小12部屋))



おすすめメニュー

手造り胡麻豆腐
季節の野菜で胡麻ごし
豚肉ニンニク味噌巻き
生タコの青のり揚げ
ピリッと胡麻の葉炒飯
生ウニたっぷりスパゲッティ

JACKPOT GROUP OFFICE ジャックポットグループ・オフィス
〒155-0032 東京都世田谷区代沢5-35-8 岩瀬ビル1F
TEL 03-3413-9555 / FAX 03-3412-7332 www.jack-pot.co.jp

目 次

○ アテネオリンピックを振り返って —— 内海ヘッドコーチに聞く ——	広報部会	3
○ 国際審判員須黒祥子のアテネ	広報部会	8
○ 特 集 中学生のバスケットボール	普及部会	1 2
○ 懇親会報告 秋季懇親会盛況裡に終わる	広報部会	1 8
○ 風神雷神 日本のバスケットボールについて 日本バスケットの将来に期待する	乙部 功 山本 峯生	2 2 2 4
○ わが軌跡 苦しい練習がもたらしたもの	沼田 宏文	2 6
○ 会員だより バスケットボールに感謝、若手に期待 バスケットボールと共に50年余 近況と元気印のバスケット	渡辺 哲也 廣見 正剛 楠野 幸子	2 8 3 0 3 2
○ 平成17年度日本協会スケジュール		3 4
○ 全国高校選抜優勝大会組み合わせ JOMOウィンターカップ		3 5
○ トピックス 田臥選手の活躍に思う	広報部会	3 7
○ 訃報 大正生まれの大先輩、今泉正一さんを偲んで 名誉国際審判今泉正一先輩を偲ぶ	手嶋 昇 小笠原義昭	3 9 4 1
○ 事務局だより プラザこぼればなし		4 2

アテネオリンピックを振り返って

— 内海ヘッドコーチに聞く —

広報部会

仙台における劇的な予選を経て出場したアテネオリンピック、日本女子は、目標とした予選突破こそ成らなかったが世界の強豪を相手に堂々と戦い、10位という成績で帰国した。次のオリンピックは4年後の北京。オリンピックが終わった今、女子日本代表チームを率いた内海知秀ヘッドコーチに、試合を顧みながらこれからの日本のバスケットについて聞きました。

—— アテネオリンピックはその予選を含めて大変ご苦労さまでした。

多くの皆さんに応援していただいたのに、オリンピックでは当初目標とした予選リーグ突破ができなくて申し訳なく思っています。

—— アテネにおいて諸外国と対戦した中で、特に技術面でやりにくかったこと、困ったこと、逆に相手に対して有効だったことなどを教えてください。



やはり一番苦労したのは身長の高さの違いです。オリンピックに行く前に、ある程度高さの対策をしてから出かけましたが、世界の高さは予想以上に驚異的で、その違いによる影響を身にしみて感じました。リバウンドを例にとりますと、ボールをはじいてから取るような練習もやっては行きましたが、こちらの手が届かないところで相手に取られてしまうほどの身長差は、やはり一番の驚異でした。日本のいいところとしては、オールコートディフェンスからのブレイクなど、速い展開のプレイにはいい結果が出ていたと思います。

ディフェンスを頑張って、相手のパスミスを誘ったりしたターンオーバーでボールを取ったあと、得点につなげられるかどうかひとつのポイントでした。シュートまでもっていくケースもよくありましたが、それが得点に結びつくかどうか大きなカギでした。

ロシア戦やブラジル戦で、クォーター単位にみると互角に戦ったクォーターもありましたので、その辺も日本としては良かったところかと思っています。

—— 身長の問題でいえば日本も190cm台のセンターが必要と思いますが・・・

現在日本の中で190cm台の選手は素材的に不足していると思います。したがって、これからすぐに取り組むことができるのは、180cm前後のパワーフォワードでオールラウンド的な選手を作り上げることだと思います。180cm位の選手にはディフェンスも同じ位の身長の選手がつかますので、対等にプレイできます。

諸外国のポイントゲッターは大体180cm位の選手ですから、これと同等の力をつければ日本にも勝機は出てくるでしょう。

—— 中学、高校で将来性のある選手はいますか？

全体的に身体も大きくなり、180cm 前後のセンスがいい選手はいると思います。あと、ポイントガードもなかなか育たないのが現状です。中学、高校に素材はあると思われるので、エンデバー制度によって育成し日本代表選手に育て上げることが必要ではないでしょうか。

日本協会でもエンデバーで底上げをしようとやっていますが、システムができて間もないですので、時間はかかりそうです。あとは大学、高校などのトップクラスの中から選抜して育成する方法もあると思います。

諸外国はクラブ的なバスケットが盛んで、代表チームの選手が辞めたりすると、すぐに下から補充できる体制になっているようです。

—— 例えばロシア戦だったと思いますが、テレビで見ていた限りオフェンスリバウンドに殆ど飛び込んでなくて、シュートがはずれたボールは全部とられていたように記憶しますが、リバウンド面はどのように考えておられたのでしょうか？

ロシアとはオリンピック前に一度対戦しているので萎縮したようなことはないと思いますが、ゲームの流れの中で高さを意識したこともあって、取りに入れなくなってしまったのだと思います。身長と体格の差によって相手に大きな空間を作られてしまい、結果的に相手の空間に落ちたボールはすべて支配されてしまいました。しかし、リバウンドのボールをはじくことによってボールの位置が低くなれば、とれる可能性も出てきます。

—— セットオフェンスや速攻でこちらのパスが読まれたりして、大事な場面でミスがあったようにも見えましたが？

多分多かったのは若手の選手だったと思います。ベテラン選手は国際試合の経験が豊富なのでそうでもないですが、1～2回の国際試合の経験ではなかなかパスも通用しないと思います。それでもターンオーバーが一番少なかったのは日本でしたが、ゲームの良い流れに悪影響をもたらすようなターンオーバーとなってはまずいですね。また、リバウンドが一番少ないのも日本でしたのでこの辺が大きな課題です。

—— オフェンス面でシュートの確率については、どのくらいの成功率を目標にしていましたか？

3Pシュートは40%以上で50%行けば上々ですが、2Pシュートについては50%以上の確率が必要です。今回3Pはそこそこでしたが、2Pの確率があまり良くなかったのです。したがって、オールラウンド的なパワフルフォワードで、ドライブインもできて2Pが取れる選手がもっと必要なのです。

—— その2Pエリアを生み出したり、そこでどうやってシュートチャンスを作るかというような作戦は？

2対2からエリアを作ってシュートチャンスを狙うといったようなシステム的な部分と、選手が判断してチャンスを作るという部分がありますが、ゲーム中は選手が判断する時の方がどうしても多くなります。確率が悪かった原因のひとつに、相手の高さを意識したこともあげられますし、全体のシュート本数が少なかったことも割合を低くした一因です。3Pが多いことは小さいチームの宿命ですが、2Pと3Pのシュート本数を比較すれば2Pの方が多いわけですので、その確率を上げることは大いに必要だと思います。

—— 今回、予選リーグを見ると3Pの成功率は日本がトップ、フリースローの成功率でも日本がトップでしたが……。

3Pは成功した方だと思いますが、フリースローは与えられた本数が少なかったのではなんとも言えません。それよりも中距離シュートの確率が悪かったのが気にかかりました。ゴール下は相手に大きい選手が多かったのではその程度が限界かと思いますが、中距離では打つ本数と成功率をもっとアップする必要がありますね。ディフェンスにくる相手が多いので、どうしても相手を意識してしまってシュート率が落ちました。

オリンピックでは身体の当たりやディフェンスもかなり厳しくなり、選手が萎縮させられる感もありましたので、あらゆる面で更に力強い選手を育成することが求められます。

—— ディフェンス面でゾーンは用意しておられたのでしょうか？

多くの方から問われましたが、積極的には用意して行きませんでした。ゾーンを敷くと、相手が多い場合にスクリーンアウトのエリアが小さくなって、余計リバウンドが取りにくくなるのでなかなか使えませんでした。いろいろな方からのご指摘を聞くと、もっと用意した方が良かったのかも知れません。ゾーンディフェンスはやはり大きいチームの方が有利ですね。

—— 時々若手に切り替えてプレッシャーディフェンスをしていたときは効果的とみられましたが、場合によってはファウルトラブルにもつながりかねません。その辺はどうだったのでしょうか？

基本的には成功したと思っています。ただそれをずっとやっているとゲームの流れが崩れてしまい、取り返しがつかなくなることもあるので、ある時期だけにしました。前からのプレッシャーディフェンスは日本が目指しているバスケットなので、ある程度のファウルトラブルは覚悟してやらなければなりません。

—— ゴール近くのリバウンドを中心としたプレイでは高さに苦しめられていたようですが、全体的なゲーム展開はいかがでしたか？

ゴール下に落ちてくるボールについてはかなり支配されていましたが、高さという面でどうにもならないという限界はありました。身体のぶつかり合いといった体力的な面から言えば、時間が経過すればするほど体格が小さい日本は不利になるので、ゲーム開始直後はこちらがリードするというゲーム展開が必要だったのですが、殆どのゲームで先に相手にリードされ、勝ったゲームでも後で逆転するというパターンとなった点は良くなかったです。

—— そういえば勝ったナイジェリア戦も最初はかなりリードされていましたね。

後半逆転しましたが選手は最後まで我慢してよくやってくれました。オリンピックに出場してくる限り、どの国も簡単には勝たしてくれないと思っていましたので、逆転して勝てて良かったです。

—— ギリシャ戦は本当に惜しい結果でした。

開催国が相手という不利な面は最初から分かっていたことなので、その辺は覚悟して臨みました。試合の最後の方で6点リードしたときはこのままいけるかと思ったのですが、

その後ミスが2回あって逆転されてしまい残念です。ディフェンスで濱口と江口がファウルトラブルとなりましたが、ゴール近くではどの選手も必死にディフェンスをしますのでやむを得ないと思います。いくら開催国が相手でアウェイ的な不利があっても、それを乗り越えて勝たなくてはいけないと思います。

—— その他の対戦ではどうでしたか？

オーストラリア戦とロシア戦については、いいゲーム展開で終わったクォーターもありましたが、そういうクォーターが4回続かないと勝つことはできません。

これまでいろいろな国の大きい選手を相手に練習試合を重ね、大きい相手にもかなり馴れて臨みましたが、オリンピック本番となると各国とも目の色を変えて厳しくなり、思っていたようなゲーム展開ができなかったことも敗因です。

—— 世界のバスケットが変わってきている中で、アジア勢の成績が振るわなかったように感じましたが？

中国はメダルを狙っていたらしく不本意な結果だと思われますが、韓国は軸になる主力が二人抜けていてプレイのバランスが悪くなってあの結果かと思います。特に、そのうち一人がポイントガードだったこともあり3Pを含めた得点能力が極端に落ちていたようです。

それ以外では、ヨーロッパのチームに言えることですが、どこも180cm前後のフォワードがいて中距離シュートを確実に決めていたことが印象的でした。インサイドバスケットにこだわらないでセンターとフォワードが絡んだ2対2による得点が多かったように思います。

—— 4年後の北京へ向かって日本はどのようなチーム作りを目指せばよいのでしょうか？

濱口選手が抜けた後のインサイドプレイヤーを育成する必要があると思います。できれば190cm以上のセンターが育てばいいと思いますが、それ以上に必要なことは180cm前後で、中距離シュートによる得点が確実に取れるようなフォワードプレイヤーが必要です。180cm前後の選手となれば日本にも対象となる選手はいるので、それらの選手の育成・強化を進めることが課題だと思います。

今回のオリンピックでも中距離点取りシューターがいて、そのプレイヤーが確実に得点したチームは勝ち上がっています。

大きい選手がいることも必要ですが、中距離でディフェンスをかわして得点が取れるプレイヤーを育てることによって、それなりのバスケットが組み立てられると思います。

—— 次の北京オリンピックの出場チーム枠はどうなるのでしょうか？

次のオリンピックからかなり変わるようです。全体の12チームはそのまま、世界選手権の優勝チーム、開催国、各大陸の代表チーム各1の7チーム以外は、改めて世界予選を行いその上位5チームが出場することになるようです。

そうするとヨーロッパのチームに比較的大きくて強いところがありますので、アジア勢は大変だと思います。北京の予選はあと3年後ですから強化も急ぐ必要があります。

アジアでは中国が開催国ということで抜けるので、韓国や台湾がライバルとなるでしょ

う。

—— 外国チームには30代の選手もいて頑張っているようですが、日本選手が30代まで活躍することは無理なのでしょうか？

ヨーロッパやアメリカでは1年中バスケットをやっているわけではなく、いわゆるシーズン制ですので30代でも活躍できるのだと思います。日本では1年中が練習と試合ですので30歳を過ぎて現役というのは無理でしょう。しかしながら日本が国際舞台で勝つためには、1年中練習をやって対抗するしか道はないと思います。現在は練習量の差で何とか高さや大きさに対抗しているのだと感じています。

—— 体育館や選手村など環境面はどうでしたか？

今回は他の競技団体を含めて選手村に入れる人数が制限されたので、なにかと不便な面もありました。どこの国も同様なので不満は言えませんが、食事面で日本人向けのメニューが少なかったように思います。メニューも種類は相当多かったのですが、和食系が少なく、例えばご飯もアジア米だったりして口に合う食事があまり取れませんでした。

また、施設は将来住宅になるらしく、4 LKのスタイルでシャワー室と風呂場が狭かったですね。

試合会場は勿論のこと、練習会場も殆どに冷房がついていて、こちらの方はまあまあでした。

—— アテネオリンピックでは、その予選を含め、皆さんの活躍が日本のバスケットボール界に素晴らしい活力を与えてくれたことに感謝しております。その効果で今シーズンWリーグの開幕戦は大変な盛り上がりようでした。

このたびのご苦勞に対して、あらためて心より感謝申し上げます。



日本女子代表チーム、向かって右から4人目内海ヘッドコーチ

国際審判員須黒祥子のアテネ

広報部会

—— アテネオリンピックの審判、大変ご苦労様でした。バスケットの日本選手団は8月8日に出発しましたが、一緒に行かれたのですか？

いいえ、4日ほど遅れて出発し現地へは一人で行きました。アテネまでは直行便がなく途中乗り継ぎがあったりして少し心細いこともありましたが、なんとかアテネにたどり着くことができました。アテネの空港に到着してから宿舎に行くオリンピック専用バスがなかなか来なくて2時間以上待たされました。



—— 現地での出迎えや案内などはなかったのでしょうか、宿舎は選手村でしたか？

出迎えなどはありませんでした。宿舎はナショナルバンクセンターという銀行研修所の施設で、各国の審判が各自そこに集合しました。

—— 集まった審判の人数は？

帯同審判が男女合わせた参加国24チームで24名、FIBAノミネートのニュートラル審判が6名、全部で30名の審判団でした。そのうち女性審判は6名で、アメリカ、ブラジル、韓国、日本からは帯同で、フランス、カナダからはニュートラルでそれぞれ来ていましたが、たまたま女性審判のなかでは私が最年少でした。

—— 大会前にルールの確認とか、FIBAから吹く上での指示や打ち合わせなどありましたか？

みんな国際審判なので特にルールの確認などはありませんでしたが、約束事などの注意事項は大会前の全体会議で話がありました。

会議の主役はコトレバさんというFIBAの審判事務局長をやっている方で、厳しいですがいつも全体的に観てくれる紳士的な方です。

—— 審判割り当てはどのような方法で連絡がありましたか、また、割り当てゲーム数は各審判とも均等でしたか？

宿舎の一角にレフリーラウンジがあって、審判の誰でもが自由に出入りできるようになっていて、そこに箆のような書類棚があり、毎日夜の8時から10時くらいの間に翌日の割り当てについての書類が置かれます。各審判ともそれを見て自分の割り当てを確認するシステムになっていました。翌日に割り当てがあるのにたまたまその場にいなかった人には、みんなで手分けしてそれぞれの個室へ書類を配布して回りました。

割り当てゲーム数は多い方で6ゲームくらい、少ない人では2ゲームくらいですね。私は全部で女子4ゲームでした。

—— 女性審判は女子のゲームだけでしたか？

原則的には女性審判は女子のゲームだけでしたが、フランスから来たジャンタレさんと

いう方だけは男子のゲームも吹いていました。

この方は2年前の女子世界選手権のファイナルゲームを吹いた方で、毅然とした態度で判定も素晴らしい審判でした。日本とギリシャのゲームを吹いた方で、今回も女子のファイナルを吹いていましたね。

—— 大会期間中審判の割り当てがないときはどのように過ごされましたか？また日本チームとの接触などはあったのでしょうか？

自分に割り当てがないときは、ゲームを見て他国の審判の判定などを勉強したりしていました。バスケットの会場は1箇所、予選リーグを含めて男子のゲームと女子のゲームが1日置きに開催されていた関係で、女子のゲームがある日に割り当てがないと2日間も空いてしまい、寂しい思いをしたこともあります。割り当ての発表が前日の夜にならないとわかりませんので、先行き、もう割り当てがないのではないのかという不安に駆られたこともありました。

各審判ともチームとは隔離された状況に置かれていましたので、自分の国のチームとは通路で会ったときに声を掛け合う程度で、日本のゲームはすべて観戦しましたが、接触することはあまりできませんでした。

それだけに審判同志のコミュニケーションはかなりありましたね。特にフランスとカナダのニュートラル審判の方から大変気にかけていただき、いろいろ教えてもらったりお話ができたりして良かったです。

—— 日本対ギリシャのゲームを観戦されて判定をどう感じられましたか？

会場がギリシャ色という感じで、観客のうち日本の応援団はどこにいるか分からないほどでした。判定について現場で見ている限りでは、どちらに有利ということもなく公平に判定されたと思いましたが、帰ってきてからビデオを見てみると、一部日本が不利に見えた判定があったので驚いています。現場で見るのとテレビでは随分と違うものだなという感を受けました。ゲームの流れを含めて、ギリシャはホームコートという有利さと観客の応援に勢いづいていたと言っていいでしょう。

—— テレビで見る限りバスケットの観客はあまり多くなかったようですが？

そんなに多くはなかったと思います。やはり男子のゲームに人気がありました。特にアメリカが絡むゲームは男女共に人気があったようです。

—— ゲームを吹いた感想は如何ですか？

ゲーム中にトラブルが起きないように細心の注意を払いました。ゲーム全体の管理という点では、ベンチを含めたゲームコントロールが非常に重要だということも感じました。

チームは各国とも審判の判定に合わせてプレイをしているようで、トラブルはありませんでしたが、少しでも気を抜くと大変なことになりそうな感じでした。例えばちょっとした肘のぶつかりなどを見逃すと、それに対して後でやり返すといったようなプレイがすぐに起きます。それが更にエスカレートして、コート上で大きなトラブルにつながるということは承知していましたので、そのあたりは最大限神経を使いました。おかげさまでトラブルもなく吹き終わられてホッとしています。

—— ゲーム中相手審判とのコミュニケーションは？

お互いに国際審判ですので非常にやりやすかったですね。相手に対して協力することは多くあっても、判定が食い違うようなことは全くありませんでした。ゲーム前に細かなことまで打ち合わせしなくても、ゲーム中はそれぞれが協力してそのゲームをしっかりと管理するという点は素晴らしいと思いました。

—— 審判のユニフォームが今までのグレイ色から変わっていて結構スマートに見えましたが。

現地で黒と白のユニフォームを支給されそれを着用しました。今後FIBAのゲームではあのユニフォームになるようです。ルール上で審判のユニフォームが変わるということは聞きませんでしたが、今回のものについては現地での評判もなかなか良かったようです。

—— ルールのことを少し伺います。ボールが7号ボールだったようですが、国内で女子はすでに6号ボールになっていますし、Wリーグでは新しいルールも適用されているようですが、オリンピックでは？

ルールはFIBA2003年ルールによって行われました。したがってボールは男女とも7号ボールでした。来年度から適用される新しいルールを先取りしている国の審判がいて、最初のゲームに若干混乱もありましたが、開始日の夜ミーティングがあって徹底されそれからはスムーズに運営されました。

日本の国内では女子のボールはすでに6号ボールになっていますし、9月から開催されたWリーグでは来年度から適用される新しいルールを採用しています。

主な変更点としては、ゲーム開始のとき最初に攻撃するバスケットをオフィシャル席の左側チームが選択できること、ジャンプボールは前半の開始時だけ行うこと、選手の交代ができる時期が変わることなどです。

—— この夏伺ったときに英語を勉強されていると言っておられましたが役に立ちましたか？

お金と時間はかかりましたが、それ以上に役立ちました。会話はすべて英語ですし、コート上は勿論のこと、コートを離れてから審判同志のコミュニケーションにも大変役立ちました。割り当てのない日などもあって、時間に余裕があるときなど仲間と話し合ったりして友達をふやすことなどもできました。中には英語がわからない国の審判もいて、お互いのコミュニケーションがとれず、随分と苦労している姿を見ましたので、一生懸命英語を勉強していった本当に良かったと思っています。

—— 英語もさることながら今回の経験が人生の上で宝物になったのではないですか？

その通りです。国内でも審判をする機会は数多くありますが、それ以上に自分としては勉強の上積みができたと思っています。出かける前に今まで海外に出かけた多くの先輩から経験談をお聞きしましたが、話だけではよく分からなかったことも多く、自分がその場その場を経験して初めて理解できたことも数え切れないほどです。特に英語での会話に不自由しなかったのが大きいです。

—— そういう点では苦労もされたと思いますが、それ以上に楽しく行ってられました

ね。

すべてがとても楽しかったですね。大会が終わっても帰りたくない気分には駆られたぐらいですし、帰りもチームとは別で一人でしたが、飛行機の乗り継ぎもそう苦にはなりませんでした。それに飛行機は何時間乗っていても平気な方で、飛び立ったらすぐに寝られちゃうくらいですので……。

—— 今回、須黒さんがオリンピックに行ったのを機会に、日本でも女性の審判がもっと増えるといいですね。

女性審判が増えて、国内で女性のゲームはすべて女性でまかなえるようになったらもっといいと思っています。私自身もフランスのシャンタレさんのように、男子のゲームも一人前に吹けるように頑張りたいと思っています。また今回の経験をできるだけ多くの審判に伝えて、少しでもみなさんのお役に立つことができれば幸いと思っています。

—— 最近女性の進展には目覚しいものがあり、今回、須黒さんのオリンピック行きは国際的にも日本の女性審判をアピールした素晴らしいことだったと思います。今後とも審判はもとより全体のお手本としても、更に前進を続けていただきたいと願っています。本日は大変有難うございました。

※日本バスケットボール協会認定の公認審判員は全国で約6000人。国内最高のAA級のうち、35歳以下で英語の会話力や技能などが認められると、国際審判の受験資格が得られる。国際審判になるにはFIBAが主催する試験（ルール＋技能）に合格しなければならないが、試験問題や会話はすべて英語。現在日本人の国際審判員は男女24人。

秋季懇親会盛況裡に終わる

—— 女子日本代表選手ならびにヘッドコーチをお招きして ——

恒例となった秋季懇親会は、11月16日夕刻より西五反田「ゆうぼうと」で開催されました。今年はアテネオリンピックで活躍された、女子日本代表チームのヘッドコーチ内海知秀氏と、それを最後に引退された大山選手、濱口選手、楠田選手をお招きして、感謝と慰労の意を込めた懇親会となりました。

多くの会員を始めバスケットボール愛好者の方々も出席され、例年になく和やかな雰囲気漂う懇親会となりました。



住田会長挨拶



オリンピックに出場された皆さん、本日はお忙しいところご出席いただき有難うございます。私がオリンピックについて常々思っていることを申し上げたいと思います。以前から申し述べておりますように、オリンピックはアマチュアの祭典にすべきであり、かつて読売新聞に投書し掲載されたこともありましたが、なかなか支持してくれる方が現れず嘆かわしく思っております。

クーベルタンは「参加することに意義あり」と言い、アマチュアの人々が集まって競技することに努力が傾注されてきましたが、最近プロが出場して“勝つこと”に意義があるような大会になり大変残念です。プロは世界選手権大会で競い合えばよいと思っています。

スポーツには体格がものをいう種目と、そうでない種目があると思います。球技の中でサッカーや野球は体格が小さくても通用するスポーツですが、バスケットボールは体格が小さい日本人には不利なスポーツだと思います。

私の会社JRは、ジェフ市原というサッカーチームを支援しておりますが、サッカーはあまり点数が入らず見ても面白くは感じません。日本の観客は点が入らないスポーツを好むようで(?)、点が入るバスケットの人気は今ひとつですが、バスケットの方が観客に喜ばれても良いスポーツだと思っております。

サッカーや野球は、ヨーロッパやアメリカにプロの選手を出しているのでも多く取り上げられ、人気もあるのだと思います。バスケットでは田臥選手がNBAに出場しましたので、バスケットが評価される明るい将来を期待しましたが、残念なことに目下は故障者リストの方に回っているようです。彼に続くような選手が出ることを願うと共に、田臥選手もやがては期待に応えてくれるものと思います。バスケットの振興を考えると、外国にプロの選手を送り出すことも人気沸騰の要因になるのではないのでしょうか。

野球のイチローを例にとりますと、新聞はすべての打席結果を詳しく報道しています。新聞はその記事を読んでもくれる人が多いから取り上げるのであって、結果的にはそれが人

気へとつながっていきます。バスケットも、もっと詳しく新聞が報道してくれるようになれば、人気も沸いてくると思っております。

本日は素晴らしいお客様を含めてゆっくりと懇親を深めていただきたいと存じます。

西塚英和氏乾杯挨拶(日本航空副社長)

本日はアテネオリンピックで活躍されました女子日本代表選手、ならびにコーチの方の功績を讃えることを含めての懇親会と存じます。今年1月に開催されましたアジア選手権大会では劇的な勝利を収めてオリンピック出場を決め、日本国中に感動と勇気を与えてくれました。これにより日本バスケットの活性化と、ファン層の拡大に大きく寄与されましたことは明白です。



現在開催中のWリーグも例年になく多くのファンがみえて応援してくれておりますし、アメリカにおける田臥勇太選手の活躍も含め、益々日本のバスケットが隆盛を極めるものと信じております。

2008年開催の北京オリンピックには男女そろっての出場を期待しますと共に、2006年に日本で開催されるFIBA世界選手権大会の応援もよろしくお願いいたします。

振興会と日本バスケットの隆盛を願い、ご出席の方々のご健勝を祈って乾杯！！

内海ヘッドコーチ挨拶



本日はこのように盛大な会にお招きをいただき誠に有難うございました。この席には私の学生時代の恩師や、現役選手のときお世話になった方、また全日本代表選手だった頃の監督さん方もお出でになって感無量です。それに引退後、北海道札幌大学を指導していたときにもいろいろな方にお世話になり、この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

1月のアジア選手権で韓国に勝ってアテネオリンピックに出場しましたが、この間選手の諸君は辛い練習にも耐えて、本当によくやってもらったと感謝しております。

オリンピックでは目標とした予選リーグ突破ができず、皆様のご期待に添えなかったことは申し訳なく思っておりますが、日本のバスケットにおいてオリンピック出場ということが、これほどまでに重要だということを今更のように感じさせられました。

これからは男女ともにオリンピックに出場することを目指して、皆で努力していきたいと思います。

田臥選手がNBAに入ったことにより、バスケットの人気も上がりつつあると思いますし、今回出場できなかった男子も団結して日本のバスケットを支えて欲しいと思います。

私ができることは、オンザコートで選手たちが精一杯プレイできるように指導することですので、これからもそれを自分の役目と思って微力を尽くしたいと存じます。今後ともご指導ご鞭撻を賜りますようお願いいたしますと共に、お招きに対し心よりお礼申し上げます。

大山選手談

日本代表チーム主将としてお互いのコミュニケーションを充分にとるよう心がけました。



今回のチームは年齢が上の選手から、かなり若い選手まで多彩でしたのでチームをひとつにまとめることが重要でした。オリンピックでナイジェリアに勝ちましたが、あのときは崖っぷちに立たされている感じで、自分たちのバスケットをやろうと全員一丸となって戦った結果が良かったのだと思います。

アテネの選手村は最初に聞かされていたイメージよりも住み心地が良く、アパートメントマンションのような感じで内部は大変きれいでした。あえて言えばシャワーの出が少し悪かったくらいですが、食事の方は和食が少なくご飯も美味しくはなかったです。引退してから身体を動かすことはやっていますが、本格的なバスケットはやっていません。

濱口典子選手談

オリンピックではどうしても届かない高さで相手のパスが入ってしまい、身体的にかなわない部分で勝負をされてしまったことが悔しかったです。高さという面では最後まで打開できなかったことが残念です。

ゲーム中、脳みそが揺れたり骨がきしむようなことも経験し、目の前が真っ暗になることもありました。なんとか頑張っただけでした。高さに対抗するために練習していったフックシュートも必要ときに生かせず残念でした。

13年間代表選手としてやってこられたことは、勝たない（勝てなかった）ことだと思います。私がエナジーに入ってから8年間もシャンソンさんに負け続けていましたが、この次はとか、今度こそはと思って前向きな目標があったことが、ここまで選手生活を長く送ってこられた要因だと思います。

心配していただいている足首の痛みは、普通に生活している限り問題はありません。



楠田香穂里選手談



私の場合オリンピック出場は初めてだったので、嬉しくて一人ではしゃいでいました。アジア選手権で出場切符を取った試合に出られなかったことが心残りだったので、オリンピックではしっかりやろうと決めて出かけました。

3Pも少し練習して行きましたので、試合中も気持ちよく打たせてもらいました。印象に残った試合はやはりギリシャ戦で、負けてしまって本当に悔しかったです。ミセスプレイヤーとして努力し苦労もありましたが、結婚して少しファンが減ってしまったのかなと思うくらいで、独身のときと同じようにプレイできました。

たまたま主人はスポーツトレーナーで、バスケットを続けてこられたのも主人のバックアップがあったからと感謝しています。

チームの指令塔としてリードしていくには、何と言ってもコミュニケーションが大切でいろいろな人と意思疎通を図ることから始まるのだと思います。

引退してからはバスケットをやっておらず、身体を動かすことは夜たまに走るくらいです。



愛知和男氏挨拶



今日は来賓ではなく、振興会会員として参加させていただきました。かつて専務理事として短い間ですが日本協会のお手伝いをさせていただいた時期もあり、久しぶりにバスケットの皆さんとお目にかかれて嬉しく思います。政界の方も引退しましたので、少し時間の余裕もでき、これからはバスケットを盛り上げられるよう会員となりました。

現在のマスコミに注目されない状況をどう乗り越えるかが問題ですが、田臥君のような選手が出てきたことはプラスだと思います。田臥選手につづく選手が一人でも二人でも出てくることを期待しま

す。

バスケットをやっている若い人が、やがてプロになってテレビに出られるような状況が生み出せれば、将来が開けて日本でも大いにバスケットがはやるようになるのではないかと思います。

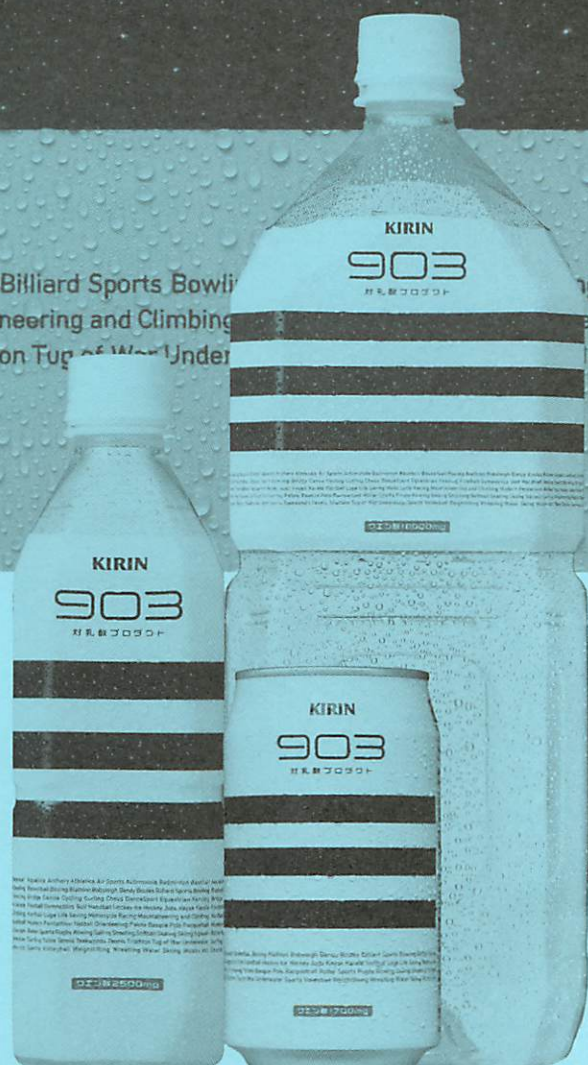
これからバスケットの発展に微力を尽くしたいと思いますのでよろしくお願いします。



903

mobile Badminton Baseball Basketball Boxing Biathlon Bobsleigh Bandy Boules Billiard Sports Bowling
ce Hockey Judo Kayak Karate Korfball Luge Life Saving Motorcycle Racing Mountaineering and Climbing
ng Softball Skiing Squash Surfing Table Tennis Taekwondo Tennis Triathlon Tug of War Under

対乳酸にはクエン酸。



スポーツのライバルは乳酸だった。アディダスジャパン 共同開発プロダクト。キリンビバレッジ

Molten®

INNER FIRE

情熱とは、あなた自身の内なる炎。
一途にトレーニングに励むときも、
戦いに敗けても挫けず
何度も果敢に挑戦し続けるときも、
熱く、まばゆく燃え続ける。
熾烈な戦いのなかで、
すべての敵を焼き尽くしてしまうまで。



JBL



- FIBA (国際バスケットボール連盟)主催国際大会唯一の公式試合球/男子
- JABBA (日本バスケットボール協会)主催大会公式試合球/男子
- J B L (バスケットボール日本リーグ機構)主催大会唯一の公式試合球
- W J B L (バスケットボール女子日本リーグ機構)主催大会唯一の公式試合球
(2003 - 04シーズン)

MTB7AT 7号球 ¥9,240(本体価格¥8,800)

国際公認球・検定球・貼り・天然皮革・ワイドチャネル
(表記の価格はメーカー希望小売価格)